

長期休業中も「かむことチャレンジ！」

生活指導の一貫として、カレンダー型ワークシートをオリジナル開発

授業（12月）



かむことチャレンジ（給食・おうち）



冬休みの生活指導

養護教諭
の
授業

「**歯の模型**」を活用。

「**体のしくみ**」と「**食**」を合わせて指導する健康教育。

「奥歯って、どの歯？」「硬いものを噛むときには口をどうやって動かすの？」映像教材と合わせて、「歯の模型」を使用。問いかけられた児童は、自分の口を動かしながら、噛み方、舌の使い方などの説明を体感的に理解した。

歯の役割、体のしくみなどと合わせて、噛み方や噛むことの効果を伝え、生活に結び付けた学習にすることができた。

長期
休業で
習慣化

「よく噛む」を生活習慣に。

冬休みの健康カレンダーのチェック項目として活用。

これまでも長期休業中の生活指導として使用していたカレンダー形式のワークシートに、かむことの①②③をチェックする欄を追加。

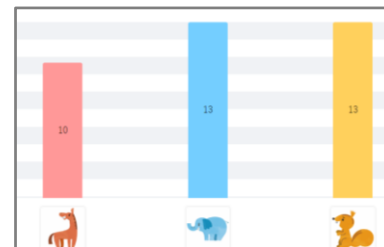
保護者、担任の先生と協力して、歯磨き・早寝早起きなどと合わせて、「よく噛むこと」を、生活習慣として指導していけるよう工夫した。



▲模型を動かして、食べ物の位置、口や舌の動きを確認。



▲冬休みの生活カレンダー



▲今日からがんばりたいこと

実施した養護教諭の声

「食べる」ことから始める健康教育

太田 志織先生

「食べる」ことや「食べるときの体のしくみ」は、低学年に対する健康教育としてとても導入しやすいものでした。特にこのプログラムは、映像やガムを使った体験、そしてチャレンジまで、すべて教材がそろっているので取り組みやすかったです。

「わたしはリスさんの姿勢をがんばります」といった児童の感想もあり、楽しく授業を受けてくれていました。